



たまゆら 12月号

—勾玉のゆらぎ、触れ合う音のかすかな響き—

勾玉を在校生・卒業生・保護者・地域・教師にたとえ、玉津中学校にかかわる人々の現在も未来も玉津中学校を通したふれあいを通じ、心の響きが奏でられるようお願いをこめて

学校だより

神戸市立玉津中学校 令和4年11月30日発行

バトンを繋ぐ、次の世代へ

第2学年 トライやる・ウィーク担当 伊地 兼弥

11月は5日間のトライやる・ウィークが実施されました。新型コロナウイルスの影響により、ここ数年間実施を見送られてきましたが、今年度は3年ぶりの実施となりました。事業所の受け入れ人数が、2年生の人数よりも大きく下回っている状況からのスタートでした。しかし、新規開拓することができた事業所が数多くあり、子供たちを温かく受け入れてくださった事業所の皆さまと、いつも支えてくださる保護者の皆様のおかげでトライやる・ウィークが実施できました。神戸市教育委員会からの実施要項の趣旨の一文には、『・・・地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み、自律性を高めるなど、「生きる力」の育成を図っていくことが肝要である。・・・』と書かれております。普段の学校生活から離れ、地域の皆さまからまさに地域社会と共に生きることにについて体験させていただき、そして、保護者の皆さまからの支えが何より貴重な学びにつながりました。本当にありがとうございました。

さて、先日は全学年ともに2学期の期末考査が行われました。結果はどうだったのでしょうか。明日(12/1)3年生は実力考査が行われます。目標に対して、どのような時間を過ごしていたのでしょうか。3年生は、いよいよ進路も大詰めとなってきます。不安な気持ちが生まれてくると思いますが、慣れ親しんだ玉津中学校で過ごす日々もあと約4か月しかありません。仲間と共に、今ある時間を精一杯過ごすことで、輝きを胸に自らの進路へと突き進んでほしいと願っています。

12月8日(木)には生徒会選挙が行われます。いよいよ3年生から1・2年生へとバトンが渡されます。すでに部活動では、運動部も文化部もバトンが渡されており日々活動しています。部活動に限らず、3年生からのバトンをしっかりとにぎりしめ、懸命に前進していくことで成長することを願っています。

令和4年度も残すところあと1か月となりました。令和5年はどのような年になるのでしょうか。素敵な1年となることを心より願っています。

表彰の記録

※個人情報保護の観点から、学校だより
たまゆら HP 版では個人名を掲載しておりません。

国語科

令和4年度 兵庫県中学校総合文化祭展覧会書写部門

特選 3年

入選 3年 2年

理科

令和4年度 第66回日本学生科学賞兵庫県コンクール

佳作 3年 3年

陸上競技部

令和4年度 第62回神戸市中学校総合体育大会 第76回神戸市中学校男子駅伝競走大会

6区 区間賞 第1位 3年

剣道部

令和4年度 第56回神戸市中学校新人剣道大会

団体戦 第3位	2年	2年	2年
	2年	1年	

男子卓球部

令和4年度 西区新人卓球大会

男子シングルス	第3位	1年		
	第5位	2年		
男子団体戦	第2位	2年	2年	2年
		2年	2年	2年
		2年	2年	1年

女子卓球部

令和4年度 西区新人卓球大会

女子シングルス	第1位	1年		
	第3位	2年		
女子団体戦	第4位	2年	2年	2年
		2年	2年	2年
		2年	2年	2年

各学年 行事風景



1年生学年体育



2年生
トライやる・ウィーク



3年生
パンジー中作戦



生徒作品

「防災学習を終えて」

3年生

今回、防災学習をして難しいと感じることも多かったですが、色々な人の意見を聞いて、自分にはない視点に気付くことができました。実際に今回したような状況に自分が置かれたらとっさにその判断ができるかと言われるとできないかもしれないと思いました。それでも、今回様々な人の意見を聞いて色々な方法があると知ったので、たくさんの選択肢の中で一番いい方法を選べるようになりたいと思いました。今回の学習を通して、改めて防災に対する意識を高めたいなと思いました。

「トライやる・ウィークを終えて」

2年生

11月7日から始まったトライやる・ウィーク。一週間という短い期間の中で、成長したこと学んだことがたくさんありました。

私はこのトライやる・ウィークで保育園に行きました。トライやる・ウィークが始まる前まで子供と接することがあまりありませんでした。その影響もあり、トライやる・ウィークが始まってすぐのときは、どのようにして接したらいいのかわからない状態でした。しかし、園児と接していく中で、こう話しかけると懐いてくれたり、こんな反応や言葉を言うと喜んでもらえるなど、たくさんの気遣いがありました。1歳から3歳時の子にはお昼寝の時間というものがあり、寝かしつけをしたのですが、なかなか寝ない子が数人いました。どうしたら早く寝てくれるのかなど考えながら寝かしつけをしていました。

お昼寝の時間に掃除をしたり、行事に向けての掲示物づくりをしたり裏でしていることがたくさんありました。寝かしつけや掃除、掲示物づくりなど園児が起きないようにしなければいけなかったのも、とても大変でした。この大変な作業を毎日していると知り、陰で支えていることがわかりました。

いつもと違う場所で活動をするので迷惑をかけないように、いつもより自分で考えて率先して動くということを意識して活動しました。そうすると、色々な先生方から感謝の言葉をもらい、私自身にとっても相手にとっても大切なことであると実感することができました。

先生方の園児と接する中で大事なことは何かと聞いたところ、相手の気持ちに寄りそうこととおっしゃっていました。実際に関わって、相手のことを考える気持ちと寄り添うことは大切なことだと実感しました。今回学んだことは、これからの学校生活に生かしていきたいです。

「1人前の中学生」

1年生

私が考える「一人前の中学生」は、「何でもできて格好いい人」です。「何でも」というのは、すべてが完璧という意味ではありません。例えば、「部活動が楽しいから、勉強より部活動を頑張る」これではどちらかがおろそかになり、バランスが悪くなってしまいます。それなら「どちらも少しずつ頑張る」方がバランスも良く、どちらかが疎かになることもありません。平等に頑張れることが、私の考える「何でも」に入ります。

私は、いつも運動より勉強を優先してしまい、運動が疎かになってしまいます。一人前の中学生になるための、「文武両道」が出来ておらず、まだ普通の中学生のままです。怪我が怖いことを理由にして、勉強だけをしています。やらなければ何も変わらず、おびえて、さぼっているだけの弱虫になってしまいます。でも私が目指しているのは、何事にも挑戦し立ち向かうような、強くたくましい人です。そんな人になれるように、これから様々なことに挑戦し、立ち向かっていきたいです。そして「一人前の中学生」になります。